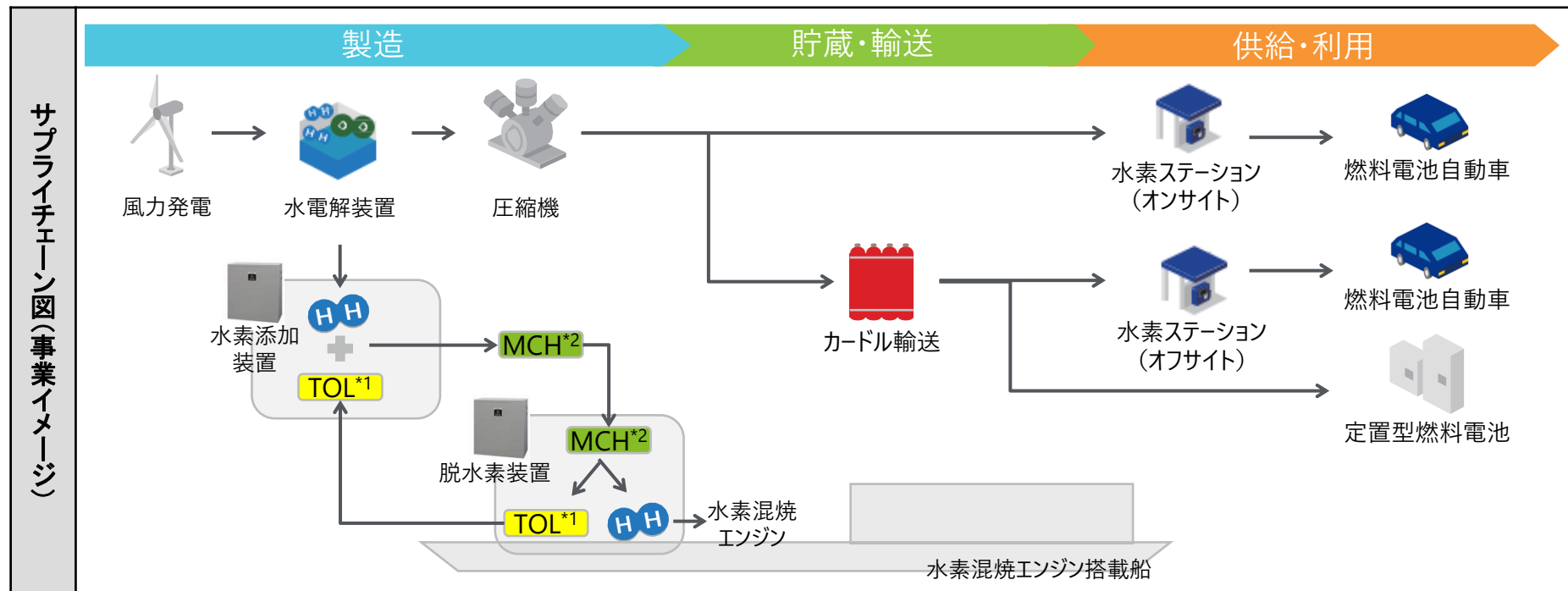


【既存のインフラを活用した水素供給低コスト化に向けたモデル構築・FS事業】

風力発電由来の水素製造及び水素混焼エンジンを活用した秋田港水素化構想 (秋田県秋田市、実施代表者：大日本ダイヤコンサルタント株式会社)

FS概要とサプライチェーン図 (2030年頃)

概要	■ FS実施期間：令和4年9月～令和5年3月 ■ 水素エネルギーの変動調整力としての活用可能性を調査 ➢ 秋田県は良好な風況から風力発電ポテンシャルが大きく、すでに余剰が発生しており、今後の大量導入を見据えると余剰電力の活用先の確保が重要 ➢ 水素製造地（＝風力発電拠点）と需要地（＝水素ステーション、水素混焼エンジン搭載船）が隣接する秋田港周辺を対象とし、調査を実施
----	---



*1：トルエン *2：メチルシクロヘキサン
(大日本ダイヤコンサルタント株式会社FS報告書より作成)